

平成28年度第1回^{もり}森林の未来を考える懇談会資料

平成27年度森林環境基金事業の 実績について

- 平成27年度森林環境基金事業の実績について

平成28年8月2日

福島県農林水産部森林計画課

平成27年度森林環境基金事業の実績について

1 森林環境の適正な保全

(1) 森林整備事業

【森林整備課】

事業概要

水源区域及び水源かん養又は山地災害防止機能の発揮を重視する森林において、手入れが行われず荒廃が懸念される森林に対し、補助事業により間伐等の森林整備を実施する。

○平成27年度実績

- ・森林整備事業 1,079ha (H26実績：1,327ha)
- ・森林整備促進事業 635ha (H26実績：446ha)



森林整備（間伐）実施後状況（いわき市）



森林整備（間伐）施行状況（いわき市）

○累計実績（平成18～27年度）

- ・森林整備事業 15,911ha (H18～H22 9,191ha H23～H27 6,720ha)
- ・森林整備促進事業 8,350ha (H18～H22 5,743ha H23～H27 2,607ha)

(2) 森林整備地域活動支援交付金事業

【森林計画課】

事業概要

森林の有する多面的機能の発揮を図る観点から、集約化施業を促進するために必要な森林経営計画の作成支援を行う。

○平成27年度実績

- 森林組合等が森林経営計画を作成するために必要な森林情報の収集や森林経営計画への参画における森林所有者の同意取得等の活動に対し支援を行った。
森林経営計画作成促進支援：680ha (H26実績：1,375ha)

○累計実績（平成23～27年度）

- 森林経営計画作成促進支援：35,348ha

(3) 森林環境適正管理事業

【森林計画課】

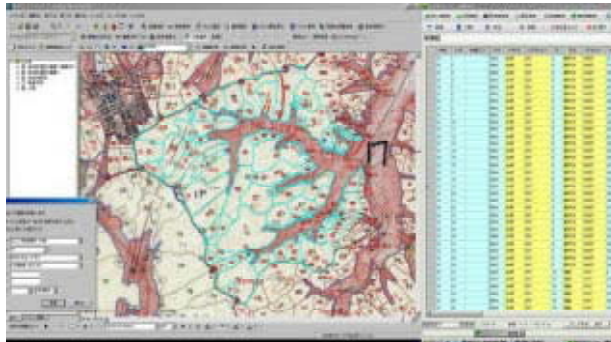
事業概要

森林環境を適正に管理し業務の効率化を図るために森林GISの運用を行うとともに、地図上で森林情報を確認できるウェブサイト「ふくしま森まっぷ」を活用し、県民へ情報を発信する。

○平成27年度実績

・森林情報（GIS）活用推進事業

森林GISを構成する①森林資源情報システム、②施業履歴管理システム、③森林情報発信システムの保守・運用業務を委託事業により実施した。



「森林GIS」による森林資源情報の表示



「ふくしま森まっぷ」の表示

○累計実績（平成18～27年度）

森林GIS開発 平成18～20年度

ふくしま森まっぷ（平成21年度公開）

平成27年度実績 アクセス件数 457,271件（H26実績：422,774件）

もり

(4) 花粉の少ない森林づくり事業

【森林整備課】

事業概要

森林環境に配慮した再造林による森林の若返りを図るため、花粉症対策品種苗木を養成するとともに、採種・採穂園の整備により造林地へ花粉症対策苗木の供給を行う。

○平成27年度実績

・花粉の少ない森林づくり推進事業

苗木養成5,000本、（H26実績：挿し付け8,500本、苗木配布450本）

・花粉の少ない苗木づくり促進事業

苗木養成100本植栽

（H26実績：少花粉スギ採種園造成0.3ha、無花粉スギ採穂園造成0.1ha）



配布用少花粉スギ苗木の養成状況



採穂園台木の育成状況

○累計実績（平成23～27年度）

ミストハウス（発根促進施設）整備 H23

少花粉スギ採種園 H26 造成0.3ha

無花粉スギ採穂園 H26 造成0.1ha

花粉症対策品種のさし付け H24～H27 22,300本

苗木配布 H25～H26 900本

2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

(5) 間伐材搬出支援事業

【森林整備課・林業振興課】

事業概要

低炭素社会づくりを進めるため、これまで搬出・利用が十分に進んでいない間伐材等未利用材の搬出を支援することにより建築・合板用材、燃料等の利用拡大を図り、森林が吸収した二酸化炭素の固定化と二酸化炭素排出量削減を促進する。

○平成27年度実績

- ・ 間伐材運搬経費支援事業 500円/m³ 13,370m³ (H26実績：14,000m³) 【林業振興課】
- ・ 林内作業路整備支援事業 500円/m 53,440m (H26実績：50,000m) 【森林整備課】
- ・ 間伐材二酸化炭素削減支援事業 1,500円/m³ 30,000m³ (H26実績：24,800m³) 【林業振興課】

間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備及び原木市場、木質燃料加工施設等への間伐材の運搬を支援した。



間伐材搬出支援事業による
間伐材の積み込み（いわき）



林内作業路整備支援事業により開設した
作業路を利用した間伐材の搬出（会津）

○累計実績（平成18～27年度）

| | | |
|--|---------|-----------------------|
| 山土場から原木市場までの運搬支援 | H18～H27 | 216,971m ³ |
| 間伐材搬出に必要な林内作業路整備 | H18～H27 | 480,640m |
| 県内木材バイオマスエネルギー利用施設への 燃料用間伐材の搬出・運搬支援 | H24～H27 | 144,800m ³ |

(6) 森林整備促進路網整備事業

【森林整備課】

事業概要

路網の未整備により間伐等が遅れている森林に対し、作業道を開設することで森林整備と搬出の促進を図り、森林環境の保全及び森林資源の活用により低炭素社会づくりを目指す。

○平成27年度実績

- ・ 森林整備促進路網整備事業 4,200円/m 7,350m (H26実績：9,787m)
- 水源区域及び水源かん養機能又は山地災害防止機能を重視する森林に対して、継続的な森林整備の促進を図るため、トラックが通行可能な耐久性のある作業道を開設する経費を助成した。



作業道の作設状況（柳津町）



作業道の完成状況（いわき市）

○累計実績（平成23～27年度）

| | | |
|--------------|---------|---------|
| 耐久性のある作業道の開設 | H23～H27 | 44,792m |
|--------------|---------|---------|

事業概要

県民が一体となった低炭素型社会の形成を進めるため、林業関係者以外による森林整備の推進や木材の利用促進を図る。

○平成27年度実績

・カーボンフセット森森（もりもり）元気事業【森林保全課】

企業・団体等が社会貢献活動で行う森林整備活動において、3社の森林づくり活動協定を締結した。(H26実績：2社)

- ①株式会社東芝 (H27.9.25) 福島市佐原地区 5.3ha
- ②株式会社東邦銀行 (H27.10.1) いわき市常磐湯本町 0.5ha
- ③公益社団法人福島県トラック協会 (H28.2.22) 下郷町 0.6ha

・緑の住宅普及支援事業【林業振興課】

県産材を利用した住宅の建設促進のため、復興関連イベントへの県産材住宅モデルの出展・展示、家づくりワークショップ等の普及啓発活動を実施した。

①住宅モデルを出展・展示したイベント（出展5回）

地域復興イベント（福島県林業祭、会津ブランドものづくりフェア、ふくしま住まいと暮らしフェア、うつくしま住まいのリフォーム博2016春、会津若松市地産地消まつり） 参加者合計970名

②家づくりワークショップ等（10回開催） 参加者合計244名

・ふくしま木の家・担い手応援事業【建築指導課】

県産木材を活かした家づくりの担い手である県内の大工・工務店等の技術者ネットワークを構築し、技術者の紹介や情報交換を行うホームページを開設した。

また、県産木材活用に向けたセミナーを開催するとともに住宅フェアにおいて県産木材の良さをPRした。

- 担い手ネットワーク登録者数 66名
- 技術力・営業力向上セミナー 3回 参加者 119名

・森と住まいのエコポイント事業【建築指導課】

構造材及び間柱に所定の県産木材を使用するなどの要件を満たす住宅の建築主に対し、1戸あたり20万円相当（被災者等は30万円相当）の補助を行い、県産木材の利用促進を図った。

- 補助実績：173棟（うち被災者等への補助は54棟）
- (H26：106棟（うち被災者等への補助は28棟）)



森林づくり活動
(株式会社東芝)



大工・工務店向け技術セミナー
(郡山市)



木工教室
「ふくしま住まいと暮らしフェア」(郡山市)



ふくしま木の家・担い手応援事業
「森林ツアー」(二本松市)

○累計実績

・カーボンオフセット森森(もりもり)元気事業(平成22~27年度)

森林づくり活動協定締結 7件

| | | | |
|-------|--------------------|------------|---------|
| H22 | (株) 東芝 | 福島市佐原地区 | 4.20ha |
| | (社) 福島県トラック協会 | 下郷町中山地区 | 0.60ha |
| | イオングループ3社 | ふくしま県民の森 | 8.16ha |
| H24 | (株) 東邦銀行 | 北塩原村大塩地内 | 2.06ha |
| H25 | (株) みずほフィナンシャルグループ | いわき市平下大越地区 | 2.27ha |
| H26 | 陸奥テックコンサルタント(株) | 南会津町八総地区 | 3.00ha |
| | 楽天(株) | 相馬市山上地区 | 7.80ha |
| H27 | (株) 東芝 | 福島市佐原地区 | 5.30ha |
| | (株) 東邦銀行 | いわき市常磐湯本町 | 0.50ha |
| | (社) 福島県トラック協会 | 下郷町中山地区 | 0.60ha |
| 合計10件 | | | 34.49ha |

・緑の住宅普及支援事業(平成22~27年度)

ふくしま緑の家づくりセミナー H22 県内7方部で実施 参加者300名

住宅モデルのイベントへの出展・展示 H22~H27 20回

家づくりワークショップ等の開催 H22~H27 56回 参加者3,392名

・ふくしま木の家・担い手応援事業(平成26、27年度)

担い手ネットワーク登録者数 H26,27 121名

技術力・営業力向上セミナー H26,27 7回 参加者245名

・森と住まいのエコポイント事業(平成25~27年度)

補助実績 H25~H27 384棟(うち被災者等への補助112棟)

(8)もっともっと木づかい推進事業

【林業振興課】

事業概要

公共施設の木質化や学校教育現場における木育活動の推進等によって、県民の木材利用に対する意識を醸成し、一般住宅等民間建築物における県産材の利用拡大やバイオマスイエネ利用機器の普及を図り、低炭素型社会の実現に資する。

○平成27年度実績

・木景観形成促進事業

県内民間団体等を事業主体とし、提案公募型での県産材を活用した施設の整備に対し支援を行った。(4か所)(H26実績:4か所)

① 元気キッズパークにほんまつ(二本松市) テーブル、ベンチ

② 岳温泉足湯施設(二本松市市) 木製塀

③ 磐梯熱海沼上発電所ほか(郡山市) 木製案内看板

④ はじまりの美術館(猪苗代町) ベンチ、レイズドベッド

・新「ほっと」スペース創出事業

高等学校、職業能力開発校等とデザイン・製品製作について連携しながら、公共建築物等にPR性の高い県産材製品を設置・展示した。(9か所)(H26実績:7か所)

① 東北自動車道吾妻PA(福島市) 木製ベンチ2脚

② 県立清陵情報高等学校(須賀川市) 木製ベンチ11脚

③ JR新白河駅(西郷村) テーブル1台、ベンチ6脚

④ 福島県会津自然の家(会津坂下町) 椅子16脚

⑤ JR只見駅(只見町) パンフレットスタンド4台

⑥ 常磐自動車道南相馬鹿島SA(南相馬市) パフレットスタンド5台ほか

⑦ 県立遠野高等学校(いわき市) テーブル2台、椅子8脚

⑧ 県立いわき総合高等学校(いわき市) ベンチ2脚

⑨ 浜地域農業再生研究センター(南相馬市) ベンチ2脚

・木とのふれあい創出事業

木を学び親しむ機会を創出するため木工工作用資材を配布するとともに、各方部での出前講座、林業祭での木工工作教室を実施した。

木工工作用資材配布 90校、出前講座9回(H26実績:124校 出前講座7回)

・バイオマス暖房でCO2ダイエット事業

木質バイオマスイエネ利用機器の民間における導入支援(64台)を行った。

ペレットストーブ24台、薪ストーブ40台、補助額:5万円/台

(H26実績:ペレットストーブ23台、薪ストーブ41台、補助額:5万円/台)

・CLT等新技术導入実践事業

CLT等の新たな木質部材を活かした新技术の導入に向けた実証等へ支援した。

CLT床を用いた合成梁の検証ほか 2件



小学校で開催した出前講座（国見町）



只見高校が制作したラック（只見駅）

○累計実績（平成23～27年度）

- ・木景観形成促進事業（平成24～27年度）
民間団体等による県産材を活用した施設整備 18か所
- ・新「ほっと」スペース創出事業（平成23～27年度）
公共建築物等への県産材製品の設置・展示 43か所
- ・木とのふれあい創出事業（平成24～27年度）
木工工作用資材提供 532校、出前講座の実施 31校
- ・バイオマス暖房でCO₂ダイエット事業（平成23～27年度）
合計 247台（内訳 ペレットストーブ77台、薪ストーブ166台、兼用4台）
- ・CLT等新技术導入実践事業（平成27年度）
実証事業等 2件

3 市町村が行う^{もり}森林づくりの推進

【9】森林環境交付金事業

【森林計画課】

事業概要

県民一人一人が参画する新たな^{もり}森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付する。

○平成27年度実績

・森林環境基本枠

59市町村（H26実績：57市町村）

- ①県民参画の推進 33市町村（H26実績：32市町村）
県民を対象とした森林教室、森林観察、林業体験、等
・市民参加による「花咲く森林づくり事業」の実施（郡山市）など
- ②森林の適正管理推進 6市町村（H26実績：7市町村）
森林整備のための協定締結、現地調査・測量
・6haの森林景観整備の実施に向け所有者との協定を締結（郡山市）など
- ③森林環境学習の推進 55市町村（H26実績：54市町村）
森林環境学習実施校 小学校286校、中学校101校、計387校 全687校の56%
（H26実績：小学校291校、中学校 89校、計380校 全702校の54%）
人数 小学校39,203人 中学校23,382人 計62,585人（全148,295人の42%）
・木の博物館を見学し、木の性質等を学んだ。（埴町常豊小学校）など
- ④森林整備の推進 35市町村、154ha（H26実績：30市町村、102ha）
間伐、野生生物との共生林整備、等
・野生生物との棲み分けを図る緩衝帯の整備42.17ha（南会津町ほか6町）
※ほか市町村による基金積立6町村（H26実績：9町村）



県民参画の推進（郡山市）



森林環境学習の推進（埴町）

・ 地域提案重点枠

20市町村、50件（H26実績：20市町村、50件）

① 県産材の利活用推進 20市町村、44件（H26実績：20市町村、45件）

小中学校・幼稚園等の木造・木質化、木製机椅子等の導入、など

・ 坂下南幼稚園の内装材木質化（会津坂下町）など

② 木質バイオマスの利活用推進 3市、3件（H26実績：2市、3件）

ペレットストーブ導入 合計9台（H26実績：合計9台）

・ フラワーセンターなど5か所に導入（いわき市）など

③ その他 2市、3件（H26実績：2市、2件）

10月3日から11月1日まで「会津・漆の芸術祭2015」を開催（会津若松市）など



県産材の利活用推進（坂下南幼稚園）



木質バイオマスの利活用推進（いわき市）

○ 累計実績（平成18～27年度）

・ 森林環境基本枠

① 県民参画の推進実施

H18～H27 49市町村

② 森林の適正管理実施

H18～H27 25市町村

③ 森林環境学習実施

H18～H27 全59市町村
延べ3,811校、実数697校

④ 森林整備実施

H23～H27 43市町村、間伐、危険木除去等630ha

・ 地域提案重点枠

① 森林整備実施

H18～H22 47市町村 210件（間伐等1,087ha）

② 県産材の利活用推進実施

H18～H27 50市町村 339件

③ 木質バイオマスの利活用推進実施

H18～H27 28市町村 71件
（ペレットストーブ237台 薪ストーブ8台）

④ その他の取組実施

H18～H27 9市町 32件
（漆の芸術祭、PTA等による里山環境再生、等）

4 県民参画の推進

(10) 林業普及推進事業

【林業振興課】

事業概要

森林・林業・木材産業の果たす役割や県民参画による森林づくりを推進するために開催している林業祭において、森林・林業・木材産業のPRを行い理解促進を図る。

○平成27年度実績

・担い手緑化推進事業

平成27年10月17日(土)、18日(日)に開催された林業祭において、木工工作体験やチェーンソーアートなどの各種イベント、林業復興をテーマとしたシンポジウム、きのこ品評会や料理教室などの実施により、森林・林業・木材産業の復興への取り組みの状況をお知らせし、併せて森林・林業の再生に対する県民意識の醸成を図った。

・来場者：5,000名



木工体験の様子



模擬上棟式(餅まき)の様子

○累計実績(平成22~27年度)

林業祭 H22~H27 来場者累計17,200人

(11) 森林環境学習の森整備事業

【森林保全課】

事業概要

全ての県民が、森林環境税の重要性や林業の役割についての学習や、森林とのふれあいのために、容易に利用できるフィールドの整備を行う。

○平成27年度実績

・県有林フィールド整備事業

施設名：青松ヶ浜県有林 森林整備(危険木伐倒) 23.55m³ 3.24ha
福島県総合緑化センター 森林整備(危険木伐倒) 74.93m³ 15.2ha
湿性植物園護岸補修 15.0m



青松ヶ浜県有林危険木伐倒処理
(郡山市)



総合緑化センター植物園護岸補修
(郡山市)

○累計実績（平成23～27年度）

・ 県有林フィールド整備事業 平成23～27年度

6施設（県民の森、昭和の森、緑化センター、翁島県有林、舟津県有林、青松ヶ浜県有林）

間伐、除伐、危険木除去等 30.59ha

木製手すり設置 58.2m 案内板等設置

木製階段 75段 歩道工 282m 護岸補修 15.0m

・ 歩道バリアフリー化事業 平成23～26年度

2施設（県民の森、緑化センター）

木質系チップ舗装歩道 330m

バリアフリー歩道 L=150m、木質舗装211m²

(12) 森林ボランティア総合対策事業

【森林保全課】

事業概要

県民参加による森林づくり運動を推進するため、県民への森林ボランティア活動への参加支援と森林整備ボランティアの核となる人材育成を行う森林ボランティアサポートセンターを運営するとともに、県内各地域において積極的な森林整備活動を行うボランティア団体の活動支援を行い、県民の森林づくり推進に向けた総合的な環境整備を行い、「循環の理念」の具現化を図る。

○平成27年度実績

・ 森林ボランティア活動推進事業

森林整備活動や森林づくり意識醸成活動などを実施した7団体に対して1,482千円を補助した。

・ 森林ボランティアサポート事業

森林ボランティアサポートセンターを引き続き「県民の森」内に設置し、ホームページ及び広報誌（森ボラ新聞）によるイベントなどの情報提供、相談業務、森林整備機材の貸出等を行った。

（ホームページアクセス件数（H27.4～H28.3）85,332件）



森林ボランティアサポートセンター



サポートセンターの活動の様子

○累計実績（平成18～27年度）

森林ボランティア団体支援 H18～H27 147団体

ホームページアクセス件数 H18～H27 450,621件

(13) 森林づくり指導者育成事業

【森林保全課】

事業概要

一般県民及び児童生徒等の森林環境学習を推進するため、指導者の育成を行う。

○平成27年度実績

・ 第3期もりの案内人養成事業

森林とのふれあいを通して森林の役割や重要性を広く県民に伝えるボランティアである指導者の養成を行った。認定者18名。（H26実績：認定者14名）

・ 森林環境学習指導者育成事業

森林環境及びその指導方法について、特に専門的な知識と指導技術に関する研修会を開催し、指導技術の一層の向上を図りながら、森林環境学習の場において活躍できる指導者を育成した。参加者16名。（H26実績：参加者29名）



第3期もりの案内人養成講座の開催状況

○累計実績（平成23～27年度）

もりの案内人養成者数 H24～H27 64人（前身事業も含めた累計は509人）
 森林環境学習指導者育成講座参加者 H24～H27 148人

(14) 県立学校における森林自然学習支援事業

【高校教育課】

事業概要

県立学校が行う森林の環境に関する学習、森林の管理に関する学習、森林資源の利用に関する学習、地域における森林の役割に関する学習及び森林に関わる職業に関する学習に対する活動費を支援する。

○平成27年度実績

実施校数 南会津高校ほか9校（H26実績：9校）

2回の体験学習と講話を通して、自分たちを支えている地域の自然環境や環境保全のために力を尽くしている職業について理解を深めさせることができた。また、測量や除伐に参加させることによって、生徒の職業観を育成することができた。（南会津高校）



森林測量体験（南会津高校）



ツリークライミング体験（会津農林高校）

○累計実績（平成18～27年度）

実施校数 H18～H27 17校（延べ実施校数 59校）

(15) ふくしまからはじめよう。森林とのきずな事業

【森林計画課・全国植樹祭推進室】

事業概要

震災や原子力災害発生以降の福島県の森林の現状に対する理解を深めるとともに、森林づくり活動の浸透や拡大を図るため、森林環境に関する情報発信と、平成30年全国植樹祭に向けた森林づくり活動の意識醸成を図る。

○平成27年度実績

・森林環境情報発信事業 **【森林計画課】**

県政特集記事、テレビ・ラジオスポットCM、ポスター及びパンフレット等により、森林環境税を活用した取組のほか、森林の整備と再生や県産材の利活用、森林づくりの推進などについて発信した。

県政特集記事「平成30年全国植樹祭の開催」H27.10.8 福島民報、福島民友新聞
 県政テレビ・ラジオスポットCM「森林環境税に対する県民の声募集」計10回
 ポスター・パンフレット・鉛筆作成「森林環境税で森林を守り育てています」

ポスター 250枚、パンフレット 20,000部 鉛筆 1,100本

- ・ ^{もり}森林づくり県民運動推進事業 【全国植樹祭推進室】
 地域における森林づくり活動を拡大するため、シンポジウム、全国植樹祭PR活動、及び苗木のスクールステイを実施した。
 - ① “もり”がたりシンポジウムの開催（2か所）
 県北会場（H28.2.27）、いわき会場（H28.2.28）
 - ② 全国植樹祭PR活動
 ご当地キャラこども夢フェスタinしらかわ2015（H27.6.6～7 白河市）ほか17箇所
 - ③ 苗木のスクールステイ 県内小学校105校参加



県政特集記事掲載
 (福島民報・福島民友新聞)



苗木のスクールステイ

○累計実績（平成25～27年度）

- ・ 森林環境情報発信事業（平成25～27年度）
 - 新聞記事掲載 3回
 - 県政広報テレビ放映 2回
 - テレビ・ラジオCM 合計694回
 - 森林環境税PRパンフレット、ポスター作成 2回
 - 合計 パンフレット 115,000部、ポスター 2,000枚
 - 森林環境税PR鉛筆作成 1回 1,100本
- ・ ^{もり}森林づくり活動推進事業（平成25年度）
 - 森林づくり検討委員会開催 3回 委員7名
 - 「^{もり}森林づくり活動推進についての提言」取りまとめ（H25.12.20）
- ・ ^{もり}森林づくり県民運動推進事業（平成26,27年度）
 - 森林づくり活動ワークショップ 3か所
 - シンポジウム 2か所
 - 全国植樹祭PR活動 23か所
 - 苗木のスクールステイ 県内小学校105校

事業概要

平成30年全国植樹祭に向け、緑豊かな森林の再生を進め、全国からの支援への感謝の気持ちを発信するシンボル事業となるよう、開催準備を進める。

○平成27年度実績**・全国植樹祭準備事業**

全国植樹祭福島県実行委員会を設立

総会 2回、幹事会 1回、植樹専門委員会 2回

シンボルマーク専門委員会 2回、開催テーマ専門委員会 1回、

基本計画委託契約締結



全国植樹祭福島県実行委員会総会



専門委員会の開催

○累計実績（平成25～27年度）

全国植樹祭福島県準備委員会開催 H25～H26 5回

「第69回全国植樹祭基本構想」取りまとめ H26

緑化活動に関するアンケート調査 H26

全国植樹祭福島県実行委員会 H27 2回

専門委員会 H27 5回

基本計画委託契約締結

5 森林文化の継承**事業概要**

先人たちが育んできた森林と人の絆（つながり）である森林文化や木の文化を改めて見直し、現代生活に活かしていくため、県民への普及PRを行う。

○平成27年度実績**・ふくしまの森林文化継承事業 【森林計画課】**

①森林文化調査業務を特定非営利活動法人超学際的研究機構に委託し、県内の森林文化の調査を実施し、調査結果を調査カードに取りまとめるとともに、森林文化を継承していくための記録映像を3本作成し、県HPで公開した。また、平成24年度からの本業務の成果を広く発信するため、森林文化フォーラム(H28.2.6 参加者174名)を開催した。

③森林文化公開体験事業を財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団に委託し、福島県の森林文化を夏休み期間、秋と冬の3回にわたり、体験活動や講演会を実施した。

シノダケ等の笛づくり (H27.8.15～21 参加者延べ210名)

キャベ餅づくり (H27.8.16 参加者58名)

イグネの講演と整備 (H27.11.8 参加者9名)

炭焼き体験 (H27.12.19～20 参加者のべ45名)

・木（森）に由来する伝統文化継承事業 【林業振興課】

木（森）に由来する伝統文化継承事業体験イベント

伝統文化が継承される地方を会場に、体験イベントを開催した。

ねまがり竹細工体験及びねまがり竹試食 (H27.8.30 参加者48名)

ねまがり竹細工体験 (H27.10.18 参加者15名)

きのこ料理教室及び試食会 (H27.10.17～18 参加者75名)



シノダケ笛づくり (大玉村)



きのこ料理教室 (郡山市)

○累計実績

・ふくしまの森林文化継承事業 (平成24~27年度)

| | | | |
|----------------|---------|----------|----------------------|
| 森林文化公開体験イベント開催 | H24~H27 | 7回 | 合計参加者590名 |
| 森林文化調査カード公開 | H24~H27 | 105件 | (H18からの累計実績155件) |
| 森林文化記録映像公開 | H24~H27 | 10テーマ11本 | (H18からの累計実績13テーマ14本) |

・木(森)に由来する伝統文化継承事業 (平成25~27年度)

| | | | |
|--------------|---------|----|-----------|
| 伝承文化継承イベント開催 | H25~H27 | 6回 | 参加者合計293名 |
|--------------|---------|----|-----------|

(18) 森林文化の活用による地域再生事業

【文化振興課】

事業概要

木材などの有益な資源であることはもとより、森林が人々の心に与える力と効果に注目し、芸術文化の視点から福島県の森林とそれに関わる文化・生活・産業を再発見するとともに、あらたな森林の活用法の提言、発信を行い、地域再生を目指す。

○平成27年度実績 【文化振興課】

・森林文化の活用による地域再生事業

本県の森林が持つ豊かな文化資源を活かしたアートプログラムを展開するなど、アートによる地域の活性化と文化芸術に触れる機会の創出を図った。参加者約3,500名

- ・森のはこ舟フォーラム2015 (H27.5.16 県立博物館)
- ・森のはこ舟セミナー3回
 - ①テーマ：伝統野菜 (H27.8.7 西会津町)
 - ②テーマ：漆 (H27.9.26 喜多方市)
 - ③テーマ：狩猟 (H27.10.17 三島町)
- ・森のはこ舟フォーラムin南相馬 (H27.9.5 南相馬市)
- ・写真展 森を感じる (H27.10.18~11.15 北塩原村)
- ・森をえがく ワークショップ2回 (H27.7.27、11.24 西会津町)
成果展 (H27.11.20~H28.2.14 西会津町)
- ・地芝居をつくろう・II 「館そらみ・田上豊演劇プロジェクト」
ワークショップ2回 (H27.10.8~9、H27.10.28~30 三島町)



地芝居をつくろうII (三島町)



森をえがく (西会津町)



森のはこ舟ポスター

6 森林環境の調査研究

(19) 猪苗代湖水環境保全対策調査事業

【水・大気環境課】

事業概要

紺碧の猪苗代湖を復活させ、水辺環境保全に向けた活動を県民が一丸となって積極的に推進していくため、山林からの排出負荷実態調査などを実施し、猪苗代湖の水環境保全に向けた検討を行う。

○平成27年度実績

・猪苗代湖水環境保全対策調査事業

猪苗代湖上流酸川流域山林の水質調査を実施した。

- ・採水8地点 合計18回
- ・調査項目：pH、COD、全りん量、浮遊物質等



調査状況（猪苗代町）

7 森林環境基金の運営

(20) 森林環境基金運営事業

【森林計画課】

事業概要

森林環境基金事業の適正な執行と透明性を確保するために「森林の未来を^{もり}考える懇談会」を運営するとともに、平成28年度以降の森林環境税制度や活用した取組についての県民の意向を把握する県民アンケート調査等を実施する。

○平成27年度実績

・森林^{もり}の未来を^{もり}考える懇談会運営事業

森林の未来を^{もり}考える懇談会を2回開催した。

第1回（平成28年1月20日）

- ・懇談会の役割について
- ・森林環境税制度に関する検討の結果について
- ・平成26年度事業の実績について

第2回（平成28年3月25日）

- ・平成27年度森林環境基金事業の実績見込について
- ・平成28年度からの森林環境税を活用した取組について
- ・平成28年度森林環境基金事業の概要について

・森林環境基金事業に対する県民の声を聴く事業

平成28年度以降のあり方を検討するため、県民意見公募を実施した。

○県民意見公募1回（H27.5.25～6.24）

個人6名から意見11件

○累計実績

- ・森林の未来を^{もり}考える懇談会運営事業（平成18～27年度）
懇談会開催 H18～H27 37回 委員10名
- ・森林環境税関連施策検討事業（平成24～25年度）
森林環境基金事業成果発表会開催 H24～H25 2回 発表題数16題
- ・森林環境基金事業に対する県民の声を聴く事業（H26, 27）
森林づくりタウンミーティング 7回 参加者合計364名
森林環境税に関する県民アンケート H26.10.25～12.25 回答数10,900件
市町村・関係団体アンケート 1回
県民意見公募1回